

オーストラリア金融政策（2023年12月）

今回は政策金利据え置き

2023年12月5日

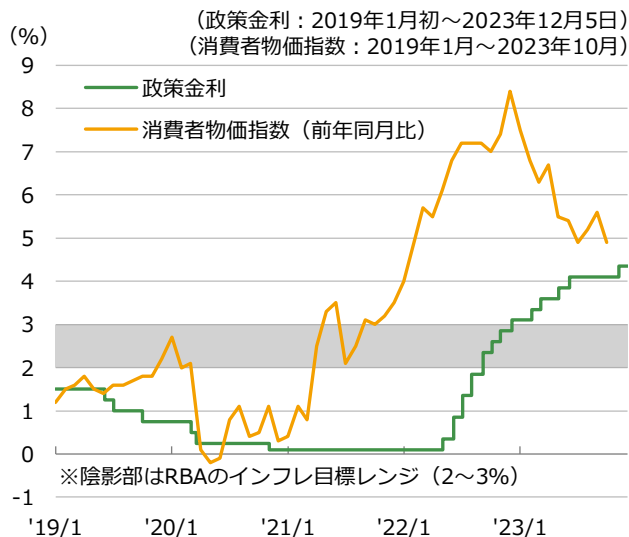
米国とは対照的に、まだ追加利上げの可能性を探る局面

RBA（豪州準備銀行）は12月5日（現地）の理事会で、市場予想通り政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。声明文には追加利上げの切迫感がなく、小幅な金利低下と豪ドル安の反応になりました。

RBAは前回11月理事会で5会合ぶりの利上げを決定しましたが、その後に発表された10月消費者物価指数などの経済指標はおおむねRBAの予想に沿ったものであり、追加利上げの必要性を高める材料は乏しかったと言えます。そうしたことから、声明文では「今会合で政策金利を据え置くことは、既往の利上げが需要やインフレ、労働市場に及ぼす影響を評価する時間を与える」と様子見する姿勢を示しました。またRBAは、11月に利上げを決定した一因に、金融市場で計測される長期のインフレ期待に上昇の兆しがある点を挙げていましたが、その後にインフレ期待が低下したことも今回の決定に至った要因とみられます。

今後の方針は、前回と同じく「更なる金融引き締めが必要になるかどうかは、今後のデータやリスク次第」としています。RBAは「妥当な期間内にインフレ率を目標に戻すこと」を重視していますが、RBAの経済見通しでは予測期間の最終時点（2025年末）に辛うじてインフレ率が目標レンジ上限の3%を下回る想定のため、今後のデータ次第で市場の金融政策に関する思惑は揺れ動く可能性が高そうです。もっとも、米国では利下げ開始時期が焦点になっているのに対して、豪州ではまだ追加利上げの可能性を探る局面にあるため、こうした金融政策サイクルの違いは豪ドルの下支え要因になると考えられます。

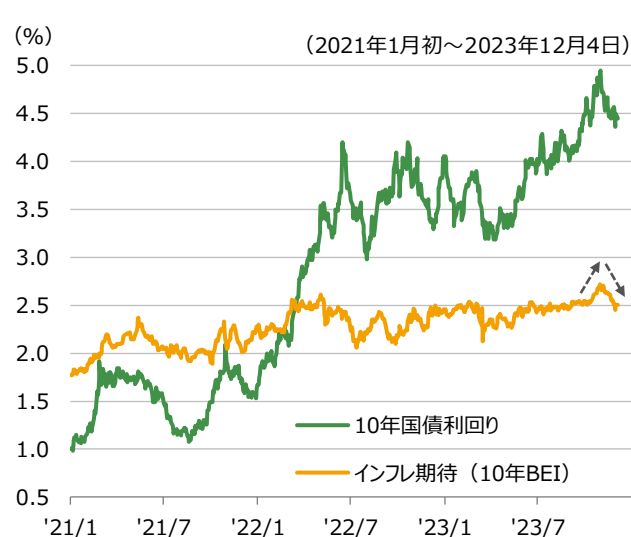
豪州：政策金利と消費者物価指数



※政策金利は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ、豪州統計局

豪州：10年国債利回りとインフレ期待



※BEI：ブレイク・イーブン・インフレ率

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。